

【2013年1月7日 板橋区政策企画課計画グループ（Eメール sk-skeikaku@city.itabashi.tokyo.jp）にメール】

板橋区民の紫垣伸也（しがきしんや）と申します。

「いたばし未来創造プラン」素案について、以下の内容のパブリックコメントを提出致します。ご査収よろしくお願ひいたします。

1) 素案全体について

(1) 「いたばしN0. 1実現プラン」と「板橋区経営革新計画」という2つの計画を「いたばし未来創造プラン」という計画として一つに束ねた理由がまだ不明確なので、明確にすべき。

(2) (1)の理由を明確にするにあたり、そもそもなぜ計画をこれまで2つに分けていたのかについても説明が必要。

(3) 「いたばし未来創造プラン」策定にあたり、より幅広い区民の意見を取り入れるために、今回のパブリックコメント募集のみだけでなく、プラン策定にあたり行政主催の区民参加型意見交換会、区民説明会を区内各所で複数にわたり開催すべき。また、開催日時は平日日中だけでなく、土日や夜間など平日日中に参加できにくい区民にも参加しやすい環境を準備すべき。

(4) 「いたばし未来創造プラン」と一つに束ねたつもりが、実際は「N0. 1プラン2015」編と、「経営革新」編とわかれていて、わかりにくい。束ねるのであれば一つのプランとして再調整すべき。

2) 素案〔1〕表紙・目次・総論 について

(1) P1で説明されている「板橋区基本計画」と「いたばし未来創造プラン」の関係性が良くわからない。「基本計画」と「創造プラン」の違いを明確にすべき。また、「基本計画」がすでにあるのに「創造プラン」を作る理由を詳しく説明すべき。

(2) P4で「いたばし力」の充実により東京でいちばん住みたくなるまち」を板橋

区が目指すと言っているが、「いちばん住みたくなるまち」というのはどういうまちなのか分かる、市民アンケートなどの客観的資料・情報を示す必要がある。

3) 素案〔3〕「経営革新」編 について

(1) 「(仮称) 経営革新編 計画項目(案)」で、項目によっては、「想定効果額」の提示があるが、効果額の提示だけでは不明瞭。効果額分の減少によって各項目の額はようになったのか、何%の削減になったのかを明示すべき。

(2) P 6 1 「特別職給与等の見直し」について、区長・副区長などの報酬減額が明記されているが、この減額の根拠は何か明示すべき。また、区長や区議会議員などの報酬は区民の税金で成り立っていることから、そもそも論として、これら特別職報酬額の設定は区民の意見を取り入れながら行うべき。

(3) P 6 1 「行政委員の報酬の見直し」の「行政委員の報酬について、教育委員、選挙管理委員及び監査委員の報酬月額を、他区の状況を踏まえ引き下げます。」とあるが、

「他区の状況を踏まえ引き下げる」ということは経営革新ではなく横並びの政策であるので、板橋区独自の報酬月額設定を明確にするべき。

(4) P 9 9 「広報いたばし発行等の見直し」の「改革の基本的な方向性」で、「広報いたばしの発行回数を週刊から月3回に見直す」とあるが、それだけではなく、区民の情報格差是正のために、従来の新聞折込配布ではなく全戸配布に見直すべき。もし、全戸配布にするには予算不足、と言う回答をするならば、どれだけ不足するのか具体的金額を明示すべき。

以上
